

令和元年5月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和元年5月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和元年5月30日（木） 13時30分～16時10分
川西庁舎 4階 第1研修室

2 出席

蔵品泰治教育長、吉楽隆一委員、庭野三省委員、佐藤美佐子委員、浅田公子委員

3 説明のため出席した者

子育て教育部長（樋口幸宏）、文化スポーツ部長（富井敏）、教育総務課長（長谷川芳子）、学校教育課長（山本平生）、指導管理主事（佐藤研一郎）、生涯学習課長（鈴木規幸）、文化財課長補佐（石原正敏）、スポーツ振興課長（庭野日出貴）、情報館長（長谷川智）

4 会議の内容

蔵品教育長

- ・議決事項の順番で議案第9号を初めに審議したい。

（特に質疑等なく了承した）

（1）会議録署名委員の指名

署名委員：庭野委員、吉楽委員

（2）報告事項

① 共催・後援等報告

- ・資料のとおり

（特に質疑等なく了承した）

② 報告第1号 十日町市中学校部活動指導員の委嘱について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

山本学校教育課長

- ・資料に基づき説明

（特に質疑等なく了承した）

③ 報告第2号 越後妻有文化ホール運営協議会委員の委嘱について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

（特に質疑等なく了承した）

- ④ 報告第3号 十日町市公民館運営委員及び十日町市公民館分館運営委員の委嘱について
蔵品教育長
・事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長
・資料に基づき説明

(特に質疑はなく了承した)

- ⑤ 報告第4号 十日町市美術展無鑑査招待作家の委嘱について
蔵品教育長
・事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長
・資料に基づき説明

(特に質疑はなく了承した)

- ⑥ 報告第5号 十日町市越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」施設の指定管理について
蔵品教育長
・事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長
・資料に基づき説明

庭野委員

- ・情報館が指定管理になり、その後市の直接管理に戻ったことがある。指定管理にする
とどれだけ経費削減になるのか。

鈴木生涯学習課長

- ・施設の光熱水費や維持管理経費は、専門業者に管理委託等しているため、指定管理に
移行しても大きく変わらないが、組織改編する中で職員人件費の数名分の縮減が図ら
れる。

蔵品教育長

- ・温泉施設のように、収入を上げられると指定管理のメリットが大きい。社会教育施設
については、職員の定期的な異動があり、指定管理の会社は固定的に運営に携わるこ
とから、慣れた人により運営が継続されるというメリットがある。

庭野委員

- ・舞台設備の専門知識を有する技術者が、十日町市に居るのか。

鈴木生涯学習課長

- ・開館から1年半が経ち、年間相当数の公演等を実施している。音響、照明など舞台の
袖に付いて知識を吸収しているところである。募集資格にある十日町市に本社を置く
というのは、市外から来ていただくより、市内に育てて市民や組織で運営しようと順

次進めている。

佐藤委員

- ・外部の業者だと、申し込み等の個人情報が漏れたりしないものか。

鈴木生涯学習課長

- ・段十ろうに限らず、すでに体育施設等で指定管理に移行している施設では、どの団体においても個人情報の保護をしっかり守ることになっている。

吉楽委員

- ・指定管理者の募集を開始する前に、民間事業者が有する発想やノウハウを活用した自主事業の企画運営を提案いただかないと、段十ろうの利用度を上げていくことに繋がらないような印象を受けた。審査のうえで、意欲的なところも見ることになるのか。

庭野委員

- ・都市にある大きなホールなら分かるが、そういう自主事業を企画運営している企業が市内にどれだけあるだろうか。

吉楽委員

- ・そういう企業はあると思う。良いチャンスを与えられ、積極的に応募いただくようになれば良いと思う。

富井文化スポーツ部長

- ・今現在、市内に指定管理を受ける業者があるかどうかは不確定であるが、これから新たに組織を立ち上げるかも知れない。音響、照明、舞台装置など業務の一部をすでに市内の業者に委託している。その業者が、他の組織と一緒に提案してくることも想定できる。これまでは、市内にそのような業者がないので、外部に全て発注せざるを得ない状況があった。外部に人材を求めたのでは、十日町市に人材が育たない。あるいは、就職先としての候補が無くなることを懸念していた。今回、組織を立ち上げることも視野に入れながら、指定管理にしていくという発想である。組織が地元根付いて管理していくことを願っている。高度な技術について市が直営した場合は、職員の異動や賃金が上がることが基本となるため、専門的なものを低賃金で安定的に続けていくことを考えると、外部委託が望ましいということになる。

庭野委員

- ・情報館の例を挙げると、元館長が現職から退職後も続けて、情報館の質が上がり、他の図書館と同等になったと思う。そういった人材が一般市民にどれだけ居るだろうか。著名人を呼ぶ企画を行うには、人脈やネットワークを持つ特定の人でなくては難しいのではないか。

富井文化スポーツ部長

- ・情報館（図書館）は、特殊性のある施設であり、図書業務そのものからは収入を得られない内容の指定管理になる。施設の維持管理は、外部の業者に委託せざるを得ない。図書館業務に特化した人達だけでは運営できないことから、NPO法人ライブフォーラムに収入が入ることが難しい状況であった。今回の文化ホールについては、様々な委託業務を統合して請け負っていく形で管理を委託できる。その人達が他から収入を得ることもでき、会社として成り立って行くことが十分考えられる。

庭野委員

- ・利益を上げることが考えられるということで良いか。

蔵品教育長

- ・貸し館を利用し、営業している会社もあるので、その可能性はある。

鈴木生涯学習課長

- ・貸し館では、職員の手がほとんど掛からずにホール使用料や設備の使用料が入る。CDやグッズ等の売り上げ5%の手数料をいただいている。他のホールのチケット販売も手数料を5%いただいている。市民会館は、市民団体との共催では100%減免であったが、他の館と同様に、貸し館として運営を指定管理に移行していきたい。

(以上の質疑のあと了承した)

⑦ 報告第6号 十日町情報館の一時閉館について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

長谷川情報館長

- ・資料に基づき説明

蔵品教育長

- ・小さなイベントなら開館しながらでも開催できるが、今回は音響装置などの設置に時間が必要ということである。

庭野委員

- ・これは無料なのか。収入は入らないのか。

長谷川情報館長

- ・そのとおり無料である。

蔵品教育長

- ・200人限定ということである。予約はいつから始まるのか。

長谷川情報館長

- ・6月10日の市報に掲載し、6月15日から受付となっている。ひとり3枚まで、限定200枚である。

(以上の質疑のあと了承した)

(3) 議決事項

① 議案第9号 第2次十日町市立小・中学校の学区適正化に関する方針の策定について

蔵品教育長

- ・「松代中学校の廃止統合案に反対し、存続を求める要望書」について報告
- ・議案第9号を上程し、事務局の説明を求めた。

長谷川教育総務課長

- ・資料に基づき説明

蔵品教育長

- ・パブリックコメントの実施結果について、市の考え方を審議いただき、学区適正化方針に反映することになる。

庭野委員

- ・コメント原文の要点をまとめたものだが、原文の大事な点が要点に抜けているように感じる。地域が学校に対する思いについて、小規模の学校のメリットを多く挙げているが、整理されてしまうと拍子抜けする感じである。

佐藤委員

- ・これだけの意見が出ていて、もう少し受け止めて考える余裕がないのかと思う。小さい学校でも不自由とは思っていない方の感動的な意見が沢山あり、これを活かさないものかと感じた。

吉楽委員

- ・最終的には地域の皆さんの合意を得て、議会の議決があったうえでの最終的な統合という意味では、決定権は地域の皆さんから平等に審議いただいた中にある。教育委員会の立場からすれば、全市を視野に入れて今後の子どもたちの教育の在り方がどうあるべきかと議論する視点もないと、心情的なものは十分わかるし、小規模校のメリットが沢山あるのも分かるけれども、令和のこれからの時代に、学習指導要領の見直しや高等学校、大学の教育の在りようを考えると、学力の向上にはもっと上を行くような指導の充実が図られないと、子どもたちが社会の中で適切な学力が生まれるのかと少し危惧するところである。今回の学区適正化に対する断腸の思いはあるけれども、市教育委員会の議論に値する方針案として必要ではないかと、私自身はそういう立場を執らせていただく。

庭野委員

- ・地域協議会に承認を得るというが、地域振興会と地域協議会の範囲が揃っていないところがある。中条は、中条地域と飛渡地域の2振興会で1協議会であり、さらに中央部は複雑なところもある。地域協議会によっては、あまりに規模が違いすぎる。地域振興会ではなく、地域協議会の承認でいいのだろうか。

蔵品教育長

- ・例えば、飛渡地域振興会が反対しているものを中条地域協議会で承認はできないと思う。地域ごとに色々な条件の中で、議論していただければと思う。

吉楽委員

- ・令和10年までに学区適正化を何らかの改変をするなら、市の人口動態と人口構成も大分変化する状況が想定できる。地域の皆さんが、学校を残すなら残すなりのしっかりした考え方を持って、建設的な話し合いができないと、情緒の中ではうまくいかないと思う。

佐藤委員

- ・反対という気持ちに松代地域がなっていたのは、統合ということが早くから報道に

出てしまったためである。小中一貫教育は、事前に保護者を中心に説明が入ったので、考える余裕があったと思う。あまりにも突然に統合計画の部分が出てしまい、地域としては驚いた。こういうことも在り得ると前から話があれば、まだ納得できたのかも知れない。松代地域を本当に大事に思っている方が行動を起こしている。パブリックコメントにある、中心市街地の方にこの寂しさが伝わらないのでしょうか。という言葉が重いと感じる。地域の方も現状を分かっていると思うが、がんばりたいという気持ちに対し、援助するのでがんばってみてくださいという言葉がけがほしいと感じる。

蔵品教育長

- 昨年は、学区適正化検討委員会で議論し、12月に中間報告として議会に説明申し上げた。いきなり結論を示すより、途中経過を情報提供しなければならないという背景があり、その衝撃が大きかったために大きな不安を持たれたのではないかと思う。子どもたちが少なくなるという悩みは、地域とともに教育委員会も同じである。子どもたちの学ぶ環境として、どうするのが一番良いのか悩ましい。地域の皆さんは、子どもたちの学びと地域の活性化も悩み事に入っているということであり、私どもはそれに目を瞑って良いとは思っていない。子どもファーストという考え方の中でも、地域のことを視野に入れながら考えるようにしたいと思っている。今回、地域のご意見を十分にまとめ切れなかったことは反省しなければならないと思うが、この方針を決めた後、地域に入りしっかりご説明申し上げなければならない義務がある。その時には改めて、1人1人のパブリックコメントを確認しながら、そういう声に寄り添いながらご説明しなければならないとそんな思いを持っている。松代地域の皆さんに、1回限りではなく当然2度3度と色々なチャンネルでご説明申し上げなければならないと思っている。中学校については、令和13年度までの子どもたちの人数がでており、松代中の生徒の令和元年度は72人、令和13年度は33人ということだが、今は中等教育学校などを選択する方もいる。そういうことを踏まえ、松代地域の子どもたちの学ぶ環境をどうするかということについて、情報を共有しながらお互いに考えていかなければならない。

佐藤委員

- 保護者の方と地域の方は、別の考えがあると思う。保護者として子どもを育てている立場になれば、人数が少ない学校に通わせて良いのか不安な部分があるだろう。地域の方にすれば、学校がなくなるのは寂しいと考えるだろう。2つの違った面があるものをどちらも汲んで考えられないか。

蔵品教育長

- 津南中等教育学校や直江津中等教育学校に進学される方も居て、自分たちの将来を見据えた中で進学する学校の選択肢が増えることは良いことだと思う。教育委員会として、松代中学校に児童全てが進学するとは言い切れないことを地域の皆様にも理解してほしい。反対署名をいただいて、松代地域には広く不安を持っていることが分かった。決めた方針については、地域の皆様にしっかり寄り添いながら説明申し上げたい。悩みを共有させていただきたい。

庭野委員

- 飛渡第一小の保護者からのパブリックコメントを見て、この意見を無視することではできないと思う。スキーについても、ある保護者は、自分ではやらないがスキーに感動したと書いている。そういう感動を教育委員会が拾い上げなければならない。以前発

言したが、スキーに特化した学校というのも可能だと思う。そういう哲学が必要である。

吉楽委員

- ・哲学は必要だと思う。我々の覚悟を持って決まるのが哲学である。

蔵品教育長

- ・ご意見の中には、飛渡第一小に他所の学校からも進学できるようなことができないものかというものがある。また、反対に飛渡第一小学校区の中にも、未就学児の保護者には早く中条小と統合してほしいという方もいる。

庭野委員

- ・それは分かるが、こういう保護者の思いを大切にできないものかと思う。

蔵品教育長

- ・そういう保護者の思いを子どもは気持ちの中に含めながら、学区適正化に取り組んでいきたい。

庭野委員

- ・外から入ってきた人達であり、地域おこし協力隊で関わって地域に思いがある。そういう思いを汲まないのは、非常に問題だと思う。

吉楽委員

- ・これから地域へ説明をするので、対立して話し合うものではなく、時間をかけて良いと思う。先ほど哲学は、覚悟を持って決まると言ったが、ここは特色のある学校だからこうしようと行政としての結論が出る。それは一つの市としての覚悟であり、小規模校であろうと、そこを一つの核にすることはできる。

庭野委員

- ・流れとして学校統合が進むのは分かるが、残そうという熱い思いがある地域は尊重することが必要ではないか。もちろん保護者が、早く中条小と統合したいと言うならそれで良いと思う。

吉楽委員

- ・子どもファーストで考えると教育の機会や経験できるとか、活動の広がりを作っておかないと、それが今の保護者の思いと少しずれる議論が出るのではないかと思う。

庭野教育

- ・大きい学校は、人数の制約があるので動き難い。活動は、小さな学校の方にメリットがある。

蔵品教育長

- ・パブリックコメントに上げる方針案を定める時には、皆さんが色々な思いの中で、最終的には方針案を決めた経過がある。それを踏まえながらの議論いただきたい。今後そういう思いをどう汲むかについては、地域に入ってお説明申し上げる中で、ご意見を賜りながら、最終的には地域の皆さんの合意がなければ、無理やりにはできない。学校が存続する限りは、しっかりと子どもたちを支え、教員を支えていかななくてはな

らない。地域の皆さんの気持ちを尊重しながら、取組んでいくよう考えている。

浅田委員

- 先般、東小学校を視察した際に、子どもたちがどの学年も、スポンジが水を吸い込むように、一生懸命に目をきらきらさせながら授業を聞いていたのが印象的であった。子どもたちは、与えられた環境でがんばる他ないと思うので、良い環境を整えて、教育を受けさせたいと思う。

蔵品教育長

- パブリックコメントについて、地域の思いの受けとめ方に意見があったが、それらの部分は今後地域に説明の中で確認しながら補っていくことで、承認いただけるのか。

庭野委員

- 自分が国語教科を専門としてきたので、要点よりも具体的なものでどれだけ読み取れるかが大事である。パブリックコメントには、名前を消して原文を出すべきだと思う。要点では書き手の思いが伝わってこない。

蔵品教育長

- 市役所の通例でこうなっているもので、反省させていただきながら、パブリックコメントの考え方に承認していただけるか。

(以上の質疑のあと了承した)

蔵品教育長

- 第2次十日町市立小・中学校の学区適正化に関する方針について意見を求める。

佐藤委員

- 小中一貫校のところで、「小規模の小学校と小規模の中学校による小中一貫校では、本方針における望ましい教育環境にならないため」という表現が、なぜ小規模校ではダメなのかと疑問に思う。

長谷川課長

- 基本的に基本方針で定めた小学校「1学年1学級以上」また中学校「1学年2学級以上」であることという基準が、十日町市として望ましい教育環境であると定めており、学級数がそこに合わないということである。

庭野委員

- 解決すべき課題の部分に教員の配置について記載があるが、教員の配置は県教育委員会の責任で行うものである。新潟県の教員採用試験の倍率が全国最下位に近い、益々そういう傾向があり魅力の無い職業となっている。これは新潟県の責任として、採用に取組まないと大変なことになる。それをこの方針に書いてはどうか。

蔵品教育長

- この方針の中ではなかなか書きにくいですが、県教育長会議や20市の教育長協議会などで意見が出されており、そういった気持ちを県教育委員会へ伝えている。その他の県要望の中でも伝えている。

庭野委員

- ・小学校の教員に魅力がないということは、由々しき問題である。学校の統廃合どころではないと思う。

蔵品教育長

- ・県教育委員会も危機感を持っており、従前と違った募集方法や経験があれば1次試験免除など、より受験しやすい仕組みづくりを検討しながら実施している。

庭野委員

- ・国が学校に対し、各種資料提出を求めるが、そういうものを軽減してもっと子どもに余裕を持って接することができるようにしないと、益々教員の応募が減るだろう。

蔵品教育長

- ・ニュースの中で多忙化や職場環境が難しい職種だと言われ、できるだけ改善していかなければならない。

庭野委員

- ・学力テストでの成績よりこっちの方が深刻である。

蔵品教育長

- ・そのとおりで、同じ認識である。

吉楽委員

- ・庭野委員が言われたとおり、教員問題については、令和10年までの方針と言えど、直近の来年度の春からの課題かと思う。強く要望しなくてはならない案件である。

庭野委員

- ・この地域に勤務した若い教員は、この地域が良かったと言う人を見てきた。地域が若い教員を受け入れる土壌がある。もちろん上手くいかなくて、こんな所は嫌だと言う人もいるが、誠実に仕事をすると受け入れてくれる地域である。そのメリットをもっとアピールしないといけない。

(以上の質疑のあと賛成多数で決定した)

② 議案第1号 令和元年度市議会第2回定例会提出補正予算案の承認について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

長谷川情報館長

- ・資料に基づき説明

鈴木生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

石原文化財課長補佐

- ・資料に基づき説明

富井文化スポーツ部長

- ・資料に基づき説明

庭野スポーツ振興課長

- ・資料に基づき説明

庭野委員

- ・縄文関係で、地元の人に関わることができるのか。竪穴式住居のことについて、語りのプログラムを作れないものか。

石原文化財課長補佐

- ・事業を実施するためには、地元の皆様のご協力をいただきたいと考えている。

庭野委員

- ・雪まつりや縄文市に東京方面から来られた方たちには、非常に喜んでもらえるものなので、語りのプログラムを是非作ってほしい。

富井文化スポーツ部長

- ・この事業は、補助金として採択されているのは今年度だけだが、5年間の事業として取り組むことが前提にある。今年の補助対象になっているものは、体験プログラムを作るということで、自立して体験を受け入れる体制を構築することを目指している。地元の人、地元の企業と行政が一体化した運営を築くことを目標としている。

吉楽委員

- ・スポーツ振興課のテストイベントの事前キャンプは、2019年のテストイベントに対するキャンプということか。オリンピックとは別のもので種目も変わるということか。

庭野スポーツ振興課長

- ・テストイベントに対するキャンプで、オリンピックの事前キャンプとは別で、別の種目になる。オリンピック事前キャンプは、すでに6種目が内定している。

吉楽委員

- ・その場合のクロアチア共和国との交流拡大というのは、小中学生が見学などすることが可能なのか。交流の予定はあるのか。

庭野スポーツ振興課長

- ・クロアチア共和国の選手団から、ぜひ子どもたちや市民との交流を望むということで、これから具体的にご相談の上決定し、ご案内したいと考えている。

(以上の質疑のあと決定した)

③ 議案第2号 十日町市教育委員会を実施機関とする十日町市個人情報保護条例施行規則の一部を改正する規則制定について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

長谷川情報館長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑はなく決定した)

- ④ 議案第3号 十日町市立学校文書事務取扱要綱の一部を改正する訓令制定について
蔵品教育長
・事務局の説明を求めた。

長谷川情報館長
・資料に基づき説明

(特に質疑はなく決定した)

- ⑤ 議案第4号 越後妻有文化ホール条例施行規則の一部を改正する規則制定について
蔵品教育長
・事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長
・資料に基づき説明

(特に質疑はなく決定した)

- ⑥ 議案第5号 公民館条例施行規則の一部を改正する規則制定について
蔵品教育長
・事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長
・資料に基づき説明

(特に質疑はなく決定した)

- ⑦ 議案第6号 議案撤回請求の承認について
蔵品教育長
・事務局の説明を求めた。

富井文化スポーツ部長
長谷川情報館長
・資料に基づき説明

庭野委員
・平日の夜も会議ができるということで良いか。

長谷川情報館長
・その通りである。現在も6月末までは利用できる。6月議会後には、利用者に今後も利用できる旨を案内する予定である。

吉楽委員
・議案撤回請求ということが非常に稀であり、本施設の利用向上を図るべきとの意見が多数と撤回理由にある。利用向上には、使用料収入ではなく利用件数を考えているのか。費用対効果になれば、かかる費用を縮減するけれど、収入もある程度増えること

も見込むのか。どちらになるのか。

富井文化スポーツ部長

- ・今後の対応策の、施設利用の在り方という意味を説明したい。文化スポーツ部で所管する様々な施設で、使用料について対応がそれぞれで違っている。例えば、体育施設については基本的に有料であり、情報館は減免により無料となるのは良くないことから、文化スポーツ部全体で施設の使用料減免規定について見直しを行うよう考えている。できるだけ有効に、市民の皆様から活用していただけるようPRすることも大事であり、利便性も含め向上するよう努めたい。

(以上の質疑のあと決定した)

⑧ 議案第7号 十日町市指定文化財の指定について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

石原文化財課長補佐

- ・資料に基づき説明

吉楽委員

- ・指定となるとしっかりと保管しなくてはいけないと思うがどうなるのか。

石原文化財課長補佐

- ・今までどおりに公開していただく。盗難等が無いようにしていただきたい。

(以上の質疑のあと決定した)

⑨ 議案第8号 十日町市指定文化財の指定について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

石原文化財課長補佐

- ・資料に基づき説明

(特に質疑はなく決定した)

(4) その他

①最近の動きについて

- ・各部長、各課長等が資料に基づき説明

② 6月の主な行事予定について

- ・資料に基づき説明

③ 十日町市総合教育会議開催予定日時

6月7日(金) 13時30分～14時30分(予定) 市役所東棟2階(大会議室)

④ 次回(6月)の教育委員会の開催日時

・6月定例会 28日（金）13：30～ 川西庁舎 第1研修室

以上で、16時10分に蔵品教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記